



## カタール：第5期中央地方評議会議員選挙の実施

5月13日、カタールで第5期中央地方評議会議員選挙が実施された。選挙の結果、女性議員2名が当選した。選挙の概要は以下のとおり。

定数：29議席

選挙制度：小選挙区制（29の選挙区から1人ずつ選出）

任期：4年

立候補者数：114人（うち女性5人）

有権者登録者数：21,735人

投票者数：16,670人（投票率69.8%）

### 評価

中央地方評議会議員選挙は、カタールで行われる唯一の選挙である。国政議会である諮問評議会では、将来的には選挙によって議員を選出することが憲法で定められているものの、今日に至るまで選挙は行われておらず、議員は全て首長による任命である。1999年以降、中央地方評議会議員が選挙で選ばれるようになったことは、カタールの民主化を促進するものとして歓迎された。

他方、中央地方評議会は、地方行政を担う事実上の地方議会と位置づけられているものの、地方自治・都市計画省の諮問的な機関としての権限しか有しておらず、その立場は極めて弱い。また、カタールでは政党の結成は認められておらず、政党に準じる政治団体の活動も確認されていない。そのため、政策に関する議論は盛り上がり、有権者は主に血縁や部族によって候補者を選んでいと見られている。

今次選挙では、女性議員が2名当選したことが注目を集めている。政府は男女平等の観点から女性議員を増やすことを奨励してきたが、2003年の第3期選挙で1名が当選したことを除き、女性議員は誕生してこなかった。そのため、女性議員枠を設けた方が良いのではないかという議論もあった程である。今回、女性議員が1人増えたことは、カタール社会の意識の変化の現れであるかもしれない。

（村上研究員）